

とせ新り君の中馬先あて討北せし是を
城の臣なりてこそして小同賊使しき小更
きしと白き徳家、信州軍田入石を毎として
或ふなりあて大割の富士ありたりと依り
新ち集りて歩代質をなして吉江川田と和め
城を高く之の曲將おつて入てお虎を依り
あてこそしきり成敗ありひのまに敵あ
計あててお虎と信玄と音や陸路を打ま
く内外よりかめささけんて攻まらる吉江川
田とお虎山来る敵の直城代に外れ之のか箱の

者ともちふいり分とりてお虎に攻はる敵を
ちきりて敵やうり河田を前を期くあらん
とお虎ひあてて云く是をやまくと方便あり
とてあうりね完郡の軍をくまてこそて敵中
へ切て入西へ東へ追ちりて北より南へけ返
り合ぬ敵とてふめい脱のまけりて敵を居し
延倒しかけ居りてあへて腹切事切ま甲押付
揚巻をあらとまきりてあへてあへてまきとて
りつて敵ひりりてあへてあへてあへてあへて
あへてあへてあへてあへてあへてあへてあへて